

## 令和7年度 第1回 一宮市学校給食審議会 議事要旨

日 時：令和7年8月25日（月）午後2時～

場 所：東浅井給食センター 2階 研修室

(司会)

定刻となりましたので、はじめさせていただきます。このあと、次第に従いまして「2議題」に入るまでの間、進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

最初に設置要綱の改正についてご報告させていただきます。

第1条につきましては、従前「一宮市の合併後の望ましい学校給食」とありましたが、合併後20年経過しておりますので、「一宮市の望ましい学校給食」と改正いたしました。施行日は令和7年7月1日でございます。

それでは、審議会についてご説明をさせていただきます。設置要綱をご覧ください。本審議会は、第1条にありますように、一宮市の望ましい学校給食のあり方を審議するために設置されたものでございます。

委員は、第2条に記されております有識者の方、教育関係者、及び教育委員会が必要と認める方13名以内で組織することとなり、過去の審議会において、会長は修文大学の渡辺昭教授、副会長は元教育文化部長の杉山弘幸様が選出されております。

それでは、只今から「令和7年度第1回一宮市学校給食審議会」を開催いたします。はじめに、教育長が、ごあいさつ申し上げます。

(教育長)

<あいさつ>

(司会)

次に、会長からごあいさついただきます。

(会長)

<あいさつ>

(司会)

本来であれば、委員の皆様からも自己紹介いただくべきところではございますが、お時間の都合もありますので、お手元の委員名簿をもって代えさせていただきます。

本日の議長ですが、要綱第5条第1項によりまして、「審議会は会長が議長を務める」となっておりますので、渡辺会長、よろしくお願いいたします。

(議長)

それでは、規定により議長を務めさせていただきます。

忌憚のないご意見をいただき、議事の進行にご協力をお願いします。

それでは、議題1「学校給食費の改定について」、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

議題1 学校給食費の改定についてご説明申し上げます。

資料の1ページをご覧ください。

5月9日付けで、学校給食費の改定につきましての諮問がございました。この審議会では、給食費を改定すべきかどうか、改定するなら、いつ頃から、いくらとすべきなのかといった答申内容をご審議いただきたいと考えております。

なお、給食費の改定に際しましては、この審議会からの答申を受け、教育委員会において公式決定される流れでございます。

只今から、食品価格の動向をご説明申し上げますと共に、7月29日に学校長、栄養教諭等により開催されました専門的な角度からの給食費の検討の結果をご報告申し上げます。

資料の4ページをご覧ください。

現在の学校給食費は、日額・1食あたり小学校285円、中学校325円で、2023年4月に改定しております。

5ページをご覧ください。

ここにございます2025年度数値については、9月に公表予定の数値を含んでおります。共同とは、給食センターで給食を調理して、複数の小中学校にトラックで配送する方式を示しており、具体的には、市町村合併以前の一宮市の学校のことでございます。また、単独とは、各学校敷地内にある給食調理場で給食を調理する方式で、市町村合併以前の尾西市、木曽川町内の小中学校のことでございます。共同と単独それぞれの、主食のご飯やパンの価格、牛乳、副食のおかず、ふりかけやデザート等の価格でございます。2023年度と2025年度を比較しますと、主食と牛乳を足した金額で小学校が約20円、中学校が25円を超えるものとなっており、給食費は同じのため、共同・単独・小学校・中学校のいずれも、この上昇と帳尻を合わせる形で、副食の価格が減少しております。

6ページをご覧ください。

学校給食での副食購入費用は、12.34%あるいは12.24%の減少でございます。一方で副食自体の価格は、この2023年から2025年までの間で値上がりとなっております。具体的に申し上げます。

9ページの表をご覧ください。

実際に共同調理場で購入しております、食品の毎年4月の価格の推移でございます。下の合計欄にありますとおり、単純平均での上昇率は、前回改定の基となった2022年度と比較し13.61%の上昇となっております。

11ページをご覧ください。

総務省が発表しています消費者物価指数の数値です。食料、生鮮食品、生鮮食品を除く食品、それぞれの欄の一番右の合成計算の欄は、前回改定の基となった2022年平均を100とした場合の指数でございます。

13ページをご覧ください。

2022年から食料が18.7%、生鮮食品が18.3%、生鮮食品を除く食料で18.7%それぞれ上昇となっております。この半年余りで急激に上昇していることが特徴です。

14 ページをご覧ください。

こちらは、農林水産省が発表しております食品価格動向調査のうち、加工食品の動向を前回改定の基となった 2022 年が 100 となるよう換算して表記しており、右下が単純平均で、2022 年比 17.1%の上昇となっております。

15 ページ、16 ページでは、同様に、野菜、肉、卵、魚介類の推移でございます。野菜は、各年度の価格を見ましても、価格自体の上昇下落傾向といった話でなく、天候などに由来する出来、不出来の影響の方が大きいように感じます。また、食肉や魚介は、加工食品ほどの上昇は見られませんが、上昇となっております。

また、帝国データバンク社の調査によりますと、原材料高や物流費の上昇に伴い、値上げ率が、加工食品で 15%、調味料で 12%、原材料で 14%などと今後も値上げする見通しとなっております。

7 ページにお戻りください。

以上の動向を踏まえ、7 月 29 日に学校長、栄養教諭等により開催されました、検討の結果でございます。

出席した者全員の総意として、主食と牛乳の価格は、2023 年度と 2025 年度を比較し、18.30%から 18.63%の上昇となっておりますが、主食の供給元である公益財団法人愛知県学校給食会は、昨今の米価格の上昇等の影響から、2026 年度の主食販売価格を値上げする動きがあることから、主食の価格はさらに上昇すると考えます。

また、牛乳価格は、前年度 2 月頃の愛知県が実施する入札価格を基準に愛知県が決定する県下統一価格での購入となります。2026 年 2 月までに物流費やエネルギーコストの上昇、労務費などの高騰が落ちつく気配はないことから、2026 年度の牛乳価格は一層値上げとなると考えております。

最後に、副食について考えますと、先ほどご説明申し上げましたとおり、2022 年を基準とし比較した結果、2025 年 4 月現在における消費者物価指数の食料品で 18.7%、生鮮食品では 18.3%、食品価格動向調査の加工食品 17.1%といずれも上昇となっていることに加え、帝国データバンク社による調査において、7 月の飲食料品値上げは 2,105 品目で、前年比 5 倍に大幅増加、夏から秋にかけて、値上げラッシュが続き、年間では 2 年ぶりの 2 万品目越えが確実とされており、2026 年度までには、現在よりも一層の価格上昇があると見込んでおります。

給食費は、2023 年度に改定をして間もないですが、昨今の物価高騰は想定を上回る急激なものであり、献立の工夫だけでは限界となっており、学校給食の目標の 1 つである、「適切な栄養の摂取や健康の保持増進」といった面を鑑みた場合、給食費を値上げすることなく乗り切れるものではないと判断しました。

また、給食費の改定は、児童生徒に安心・安全な給食を提供するために必要な金額を決めるものであります。

したがって、これら検討の結果、学校給食費については、先ほどの 18.7%、17.1%といった上昇実績に対応すべく、約 18%の増額が適当であると結論しました。

さらに、今後の学校給食費の改定については、食品価格の状況を見極め、必要な場合には改定時期に拘ることなく改定するべきことといたしました。

この結論を踏まえ、答申案を

1. 学校給食費の額

小学校 285 円を 335 円にする。

中学校 325 円を 385 円にする。

2. 改定時期

2026 年 4 月 1 日

としてよいかどうか、ご審議をお願いするものです。よろしく願いいたします。

(議長)

ただいまの説明について、ご質問ございましたら、お願いいたします。

(委員)

価格高騰による物価上昇の中で、給食費を据え置くことで提供している給食の量は減っていますか。

(事務局)

食材を、国内産から外国産に替えたり、野菜は冷凍野菜を使ったり、肉の量を減らして、代替のものを使って、栄養価を保つよう努力をしております。量自体も減らないように頑張っておりますが、そろそろ限界に来ている状況でございます。

(委員)

給食費の額を改定したら、給食は元に戻りますか。

(委員)

栄養教諭の立場から言いますと、限られた給食費の中で給食を実施しておりますが、特に主食と牛乳が値上がってから、本当に苦慮しています。ただ、栄養と安全は確保したいので、先ほど事務局から話がありましたが、例えば、肉を同じたんぱく源である豆腐と肉を合わせて、栄養価を下げずに安価な食材で量を確保しながら調理を行っております。給食費を値上げしていただけたら、児童生徒が喜ぶ肉の量を増やすことができるかと思っております。現在、旬の果物は価格が高くて買いつらくなっており、デザート類は栄養というよりも児童生徒のお楽しみですとか、暑い季節にさっぱりしたものを食べてほしいと思っておりますが、今年になってから全然出すことができないので、もう少し楽しみのある給食を出せるようになるかと思っております。

(議長)

学校給食はたんぱく質をどれだけ、脂質をどれだけ、炭水化物をどれだけという基準があると思っておりますが、たんぱく質を大豆で摂っても肉で摂っても構わない、だけど、本来あるべき食材が出しにくくなってきているということですね。コロッケでも 65 円のものもあれば 200 円のものもある、質が下がれば国内産がなくなり、価格が下がれば質が下がる、多少の質を下げながら献立を立てているという感じですか。

(委員)

そうですね。同じものでも価格に差があるものがありますので、中身を確認したうえで、なるべく安価なものを選ぶようにしております。購入先の方の協力で、在庫を持っている数が単独校ですと共同に比べ食数が少ないので、賞味期限が切れていない、見切り品くらいの価格のものを紹介いただいて、同じ品物でも安価で買えるように探していたりして、何とか成り立たせている状況です。

(委員)

今のような具体的な例を話していただけると保護者の方への納得性が高まると思いますので、代替で豆腐を使っていたものを肉に戻せるという話をしていただけるといいなと思います。

(議長)

児童生徒に必要なエネルギー量を給食で確保できているのかと、いろいろところで取り上げられていますが、一宮市の場合はいかがですか。

(委員)

そのようなことがないように努力しておりますが、不足気味になりつつあります。元々、日によってばらつきはありますが、果物が摂れないとビタミン C、汁物の野菜を控えめにするとう食物繊維、デザート類ですとヨーグルトがカルシウム源になりますが、控えるとそれらが摂りにくくなっている状況です。

(議長)

エネルギー量は月で決めるんですか。

(委員)

そうですね。月でどうなのかを計算しています。

(議長)

価格が上がれば苦しくなってきますか。

(委員)

そうですね。

(議長)

他にご質問ございましたら、お願いいたします。

(委員)

工夫して給食を作っておられますが、これから先は工夫しても、限界がきているということですね。

(議長)

給食の質が変わっていくことを児童生徒はどう捉えているのでしょうか。

(委員)

中学校ですと、人気のある献立は食材費が高くなるものが多く、から揚げだとサイズが少し小さいという声を聴きます。ただ、楽しんで給食を食べていますので努力していただいて

いるなという印象はあります。

(委員)

小学校では、そういった声は今のところありませんが、給食の献立作成委員会に出席すると価格が安くて、出しやすい献立が多くなってきたと、これよく出るねという話はしています。

(議長)

保護者からそういった話はないですか。

(委員)

保護者から、そのような話は聞いていません。児童生徒が知らないところで、少しずつ変わったり、献立を立てるときに苦労して上手にやり繰りしているんだろうなと感じます。予算の範囲内で頑張っているけど限界は超えているんだと思います。

(議長)

今、給食費は小学校が 285 円、中学校 325 円ですが、実質の負担はいくらですか。補助はありますか。

(事務局)

ご提案申し上げております 335 円、385 円につきましては補助等がない金額で保護者をお願いしたいと考えております。今年度につきましては 1 学期のみですが国の臨時交付金を活用し、1 食あたり小学校 15 円、中学校 20 円の補助を行い、保護者の負担軽減を行いました。来年度については、補助をするお約束はできませんので、このままお願いする形で考えております。

(議長)

国からの補助があったときには然るべき対応をしていくが、将来のことは補助があるか分からないということですね。

(事務局)

一宮市は学校給食法により食材費については保護者の方をお願いするという方針をとっています。来年、国の臨立交付金等があったとしても市の中で様々な施策がございまして総合的な判断の結果、給食費に充てることもあり得ますが、この場で必ず補助を行うという話にはできるものではありません。

(議長)

給食費に対する補助に対して、ご意見があればお願いします。

(委員)

事務局から説明があったように前回は給食費の値上げをした際に値上げ分の補助という形で、交付金を使わせていただいたんですが、一宮市は年間 1,400 億以上の予算ですが、市の財政力を見ると、100 パーセントとした時に、82 パーセント分の財源しかなくて、残りの 18 パーセントは国からの交付金で賄う赤字の市なんですね。そういったところに、給食費の無償化を行うと 16 億円が必要で、給食費に 16 億円使うことができない現状ですので、

一瞬瞬発的に上がったところに、景気、家計が追いつくまでの間、その値上げ分だけ補助するのが、一宮市の運営としては現実的かなと思っています。

給食費全体を完全に無償化するっていうのは、ぜひ国の施策としてやっていただかないと、市同士で差が出てしまうのは我々も良しとするところではないので、国には訴えていきたいと思っていますが、個人的には食べた分は個人が払うのが理想で低所得者の方には今でもしっかり無償とするケアを行っているので、一律に無償にしなくても個人的には良いんじゃないかと思います。議会としては、瞬発的に値上がった部分に補助して、家計が落ち着くまでの間の対策を今後も広めてほしいと思っています。

献立表を拝見しましたが、横にカロリーが載っていて、から揚げ1個しか乗ってないというのが有名になりましたけれども、あの時も開明小学校の献立表を拝見したんですけど、ほかの時よりもから揚げ1個の時の方がカロリーが高かったんですね。

ですから、一宮市の給食に関わる方は、そういったところをちゃんとケアしてやっていただいていると思います。私がちょうど保護者と同じ年代なので多くのご意見をいただきますが、一宮市はそういったところをしっかりとやっているなという認識でおります。

(議長)

どこにでも目を配っているということですね。

(委員)

そうですね。

(委員)

主食に国の補助はなかったですか。例えば、米飯やパン、牛乳とか給食会を通じて国から買っていると思いますが、すでに何らかの補助はなかったですか。

(事務局)

牛乳に補助があります。主食につきましても愛知県の学校給食会が取りまとめを行っており県内一律の価格ですし、学校給食用パンに使用する脱脂粉乳は、関税無税の特別措置品となっております。

(委員)

民間で提供する立場でいえば、作る側の経費は全く入っていないんで、人件費や運営費を考えると、倍くらいの金額じゃないと利益は出ないんですが、すでに市が人件費等を負担していることを理解いただきたいと思います。牛乳の補助があったとしても、やり繰りが難しいのであれば仕方ないと思います。

(議長)

事務局の説明の中で今回ではなく次回の改定の話がありましたが、今後の値上げについての考え方があればお願いします。

(事務局)

パーセントというのも、後追いになってしまうので、分かりやすい金額で、お示しできればと考えております。その中で主食と牛乳の価格は、年明けから2月にかけて決定されま

す。県内統一の価格なので、主食と牛乳で15円ほど高くなった段階で、次回の給食費の改定を検討していきたいと考えています、先ほどご説明しましたとおり、ここ半年ぐらいで急激に価格が上がっており、今年度、大変苦慮しておりますが、このような事態を招かないよう、15円を目途としたいと考えております。主食と牛乳で15円高くなりますとその分、副食にかけられる費用が15円減ります。副食だけ価格が上がらないということはありませんので、主食、牛乳と同様副食の価格も上がってきますので、実質15円減って、なおかつその分また上昇分も減りますので、実質は15円じゃなくて、20円、30円、副食にかけられる費用が減るという状況になりますので、目途として15円を超えたら、検討して行きたいと考えております。

(議長)

物価に合わせてみていくという話ですがマイナスになった時はどうしますか。

(事務局)

給食費はそのままお願いしたいと考えていますが、下がり具合を鑑み、経済状況を見ながら判断していきたいと考えております。少し上がったからその都度、給食費を上げているわけではないので、少し下がっても給食費は維持しながら、状況を見極めて判断していきたいと思います。

(議長)

15円の論拠はなんですか。

(事務局)

3年前と比較し、主食と牛乳が20円ほど、値上がっております。20円となりますと現在、大変苦しい状況ですので、そこに至らないところで児童生徒に安心安全でおいしい給食を提供するためには15円が目途になるだろうと考えております。

(委員)

もし、今後1年間で15円、値上がったらどうしますか。

(事務局)

現在の米の価格など1年間で15円、値上がる可能性もありますので、早ければ1年後にも改定の検討をしなければならないと考えています。

(委員)

主食は愛知県の給食会で県内一律となるように、学校給食には値上げ分を配慮して設定されています。副食については簡単に値上げがされていく状況で、できましたら主食と牛乳の15円程度だけではなく、副食のことも考慮してもらえるといいかと思います。副食の価格も1年を待たず数か月単位で値上がっている状況なので、そのあたりも考慮していただければと思います。

(事務局)

私も共同調理場の食材選びに参加しており、今お話いただいたように、先月までは安かったものが、今月はその価格では買えないという話を聞いております。先ほど15円の話をか

せていただきましたが、ものによって変化というか、消費者物価指数の数字自体も、上昇率等で判断するのが難しい中で、一番分かりやすい方法として、主食と牛乳の例を示させていただきましたが、今、そのようなご意見がありましたので、よく研究させていただきたいと考えております。

(議長)

主食と牛乳が上がれば副食も上がっていくはずなので、副食の上昇を主食と牛乳分の上昇でみていこうということですね。全てのものに基準を設けるのは不可能ですね。

(事務局)

そうですね。今年度、主食と牛乳を基に15円の上昇で計算しますと概ね10パーセント上昇する状況で、消費者物価指数等につきましても同じような数字となりますので、10パーセント程度のところが目途になるかと思います。

(議長)

15円がいいのか、15.5円、16円がいいのか、何とも言えないですね。だけど、長年、現場でやっておられる方の意見を尊重して15円を目途にしたということですね。

(事務局)

はい、そうです。

(議長)

大事なことなので皆様に伺います。来年度から給食費を値上げすることへの賛否、値上げの額が事務局の示した額で良いかの賛否、改定期を来年度からとすることへの賛否、物価上昇が今後も続いた場合に主食と牛乳が15円を目途とし上昇した場合に給食費の見直しを検討していいかの賛否を挙手によって伺います。

来年度から給食費を値上げすることに賛成の方は挙手をお願いします。

<全員挙手>

値上げの額についてです。事務局が示した小学校については285円を335円に、中学校については325円を385円に値上げすることに賛成の方は挙手をお願いします。

<全員挙手>

改定の時期を2026年4月1日とすることに賛成の方は挙手をお願いします。

<全員挙手>

今後、主食と牛乳が15円を目途として値上がった場合に、給食費改定の検討をせざるを得ないだろうということに賛成の方は挙手をお願いします。

<全員挙手>

(議長)

ありがとうございました。

次に議題2「その他」を事務局より説明をお願いします。

(事務局)

報告事項が1点ございます。南部・北部共同調理場の老朽化に伴う東浅井給食センターの次

の第2共同調理場の整備の進捗状況についてでございます。

萩原町西御堂地内で進めております第2共同調理場の整備につきましては、現在、建設用地取得のための土地の鑑定評価を実施しており、鑑定評価が出たのちに地権者の皆様に用地購入の交渉に入らせていただくところでございます。

以上ご報告いたします。

(議長)

ただいまの報告について、ご質問がございましたら、お願いいたします。

<各委員から発言なし>

(議長)

ご質問もないようですが、せっかくの機会ですので、委員の皆様から何かご意見ご質問等がありましたら、発言をお願いいたします。

<各委員から発言なし>

(議長)

よろしいですか。これですべての議題を終えましたので、進行を事務局にお返しします。

(司会)

ありがとうございました。

それでは3「今後の予定」について事務局より説明いたします。

(事務局)

今年度につきましては、審議会の開催の予定はございませんが、必要な事柄がありましたらその都度、召集させていただきますので、よろしく申し上げます。

事務局からは以上でございます。

(司会)

それでは、これをもちまして学校給食審議会を終了します。本日は貴重なご意見等をいただき誠にありがとうございました。

<各委員から「ありがとうございました。」の声あり>